

資料 16 : 臨床実習開始前の「共用試験」第 2 版 (平成 16 年)

Common Achievement Test for Medical and Dental Students Prior to Clinical Clerkship
患者中心の医療に向けた医師・歯科医師の育成を目指して
医学・歯学系教職員と学生のために

共用試験実施機構 (CATO), 医歯学教育システム研究センター (全国共用利用施設) (2004.11)

はじめに

「臨床実習開始前の共用試験」(案内冊子) 第 2 版 (平成 16 年度版) をお届けいたします。医学・歯学教育の改善を目指して、平成 14 年から開始された「臨床実習開始前の共用試験」も全国の医科大学・医学部、歯科大学・歯学部のご協力を得てこれまでに 3 回のトライアルを実施し、平成 16 年 12 月からの最終トライアルを迎える段階となりました。平成 17 年度からは正式実施となり、共用試験の成績は各大学の成績とともに臨床実習開始前の進級判定に用いられることとなります。

平成 15 年度版冊子は、主に医学系に関して記載しましたが、平成 16 年度版冊子では、医学系と歯学系に関するこれまでの経緯を簡潔にまとめるとともに、最終トライアルに至る準備状況等を記載してあります。全国の医学系・歯学系大学の教職員・学生諸氏の教育・学習の参考としていただければ幸いです。

「臨床実習開始前の共用試験」は、「総合的に質の高い医療を提供する」ための医学・歯学教育改善の原点に立ち返り、臨床実習の充実を目指して医学系・歯学系の大学が自主的に参加し、モデル・コア・カリキュラムに準拠した全国共通の標準評価試験として、医学生・歯学生の総合的知識および態度・基本的診療能力を評価します。一般社会および国民の皆様におかれま

しても「臨床実習開始前の共用試験」の意義をご理解いただき、ご協力をたまわりますようお願い申し上げます。

平成 16 年 11 月 20 日

共用試験実施機構
医歯学教育システム研究センター
(全国共同利用施設)

(中略)

目次

はじめに

- 1 共用試験の概要
- 2 共用試験に関する遵守事項
- 3 知識・問題解決能力の客観的評価試験 (CBT)

の概要

- 4 医学系 CBT
- 5 歯学系 CBT
- 6 客観的臨床能力試験 OSCE の概要
- 7 医学系 OSCE
- 8 歯学系 OSCE
- 9 共用試験の正式実施について
- 10 共用試験実施機構の社団法人化
- 11 共用試験実施機構組織
- 12 共用試験実施機構委員名簿